

所 属	県土整備部 道路維持課		
担当(係)名	維持管理担当	内線	3736

道路橋りょうにおける耐震対策の実施

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
682,000	国庫 341,000	工事請負費 586,000
(前年度	県債 341,000	(橋りょう耐震化工事)
1,051,000)		

2 背景・現状

県では、平成7年1月の阪神・淡路大震災以後、橋りょうの耐震補強工事を進めてきたが、緊急輸送道路¹上にある要対策橋りょう150橋(古い設計基準²で架けられた国道77橋、地方道73橋)のうち、平成21年度末までに全体の87%(130橋)の完了を予定している³。

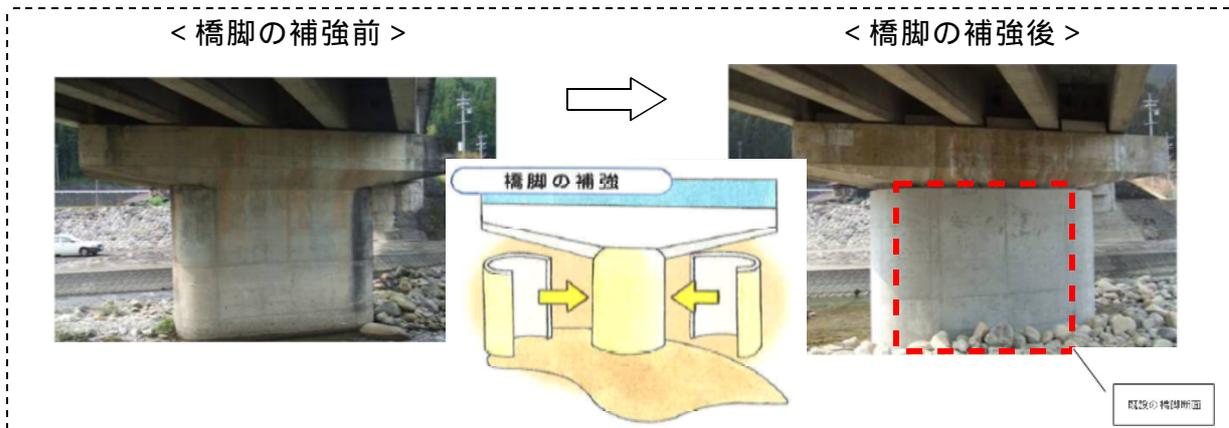
- 1：地震発生後から防災拠点施設に緊急輸送を円滑に実施するための道路ネットワーク
- 2：昭和55年の設計基準より古いもの
- 3：県管理道路分の平成21年度末時点の見込み

3 事業目的

緊急輸送道路の路線にある橋りょうの耐震補強を優先的に実施することにより、阪神・淡路大震災と同程度の地震動に対する橋りょうの耐震強度を確保する。

4 事業概要

平成22年度は、国道156号・合掌大橋(白川村)など20橋の耐震補強を行い、緊急輸送道路上の要対策となっているすべての橋りょうについて、耐震補強対策を完了する。



(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) (2) 道路橋りょう維持費
(明細書事業名) 公共事業他
橋りょう補修費他